

ともに生き、ともに歩むまちづくり

【現状と課題】

今後も厳しい財政状況が続くことが予想される中で、地方分権時代にふさわしい個性的で自立したまちを創造し、将来にわたって持続的に経営していくためには、多様な人的資源を活かしながら、まち全体の自立力を一層強化していくことが求められています。

このため、「ともに生きる」という町民気質・地域風土等をさらに生かしながら、町民や町民団体、民間企業、大学等との協働体制の強化、コミュニティの活性化を進め、協働のまちづくり、住民自治の地域づくりを進めていくとともに、財政の健全化や事務事業の見直しをはじめ、さらなる行財政改革を進めていく必要があります。

重要施策 1

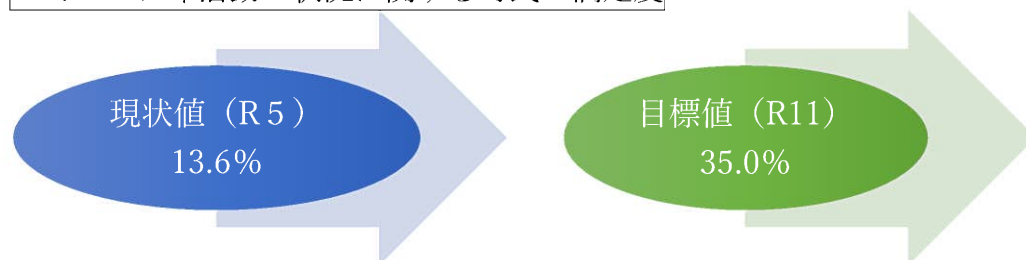
コミュニティ

- 町民の自主的な活動を促進するため、行政区に対する運営交付金の交付や町職員の地域担当制により、活動支援に努めます。
- 将来にわたって持続可能なコミュニティの形成が大きな課題となるため、地域の共同意識や信頼関係を醸成するコミュニティ活動を今後も継続します。
- 多世代の町民が気軽に「集い、憩い、交流」できる場所づくりとともに、地域公共交通の結節点機能を有する地域の拠点整備を推進します。

主な施策 1 コミュニティ活動の推進

町民の自主的な活動を促進するため、コミュニティ意識の高揚に努め、活力ある行政区・町内会運営が行えるよう、行政区運営交付金の交付を引き続き行います。また、行政区の再編などは、地域の自主性を尊重しながら支援を行います。

コミュニティ活動の状況に関する町民の満足度



※町民の満足度の現状値は、令和5年10月に実施した町民アンケート結果による。

主な施策 2 コミュニティ活動の活性化重点プロジェクト⑤

町民の交流と生活の利便性向上と、賑わいを創出し、地域コミュニティの活性化を図るため、地域拠点施設の整備を推進します。

重要施策 2

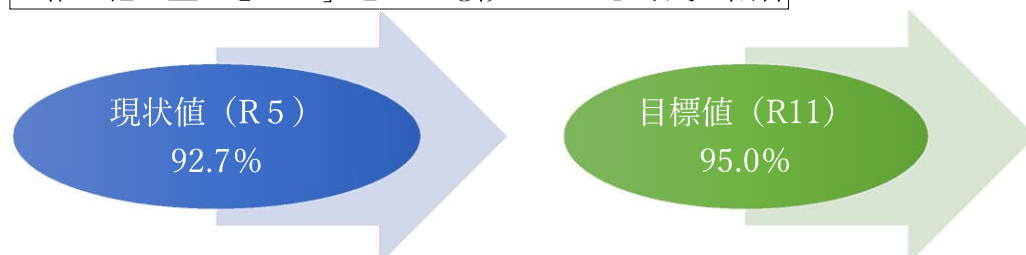
町民参画・協働

- 町民の視点に立ったまちづくりを基本に、広報活動を推進するとともに、情報の提供に努めます。
- 各種審議会や委員会を通じて、町民参画のもとに行政計画の策定・推進に努めます。
- 人口減少に伴う担い手不足や、まちづくり活動への参加者に固定化がみられることから、今後も町民の積極的な取り組みを促すための情報提供や啓発活動を進めます。

主な施策 1 広報・広聴活動の充実

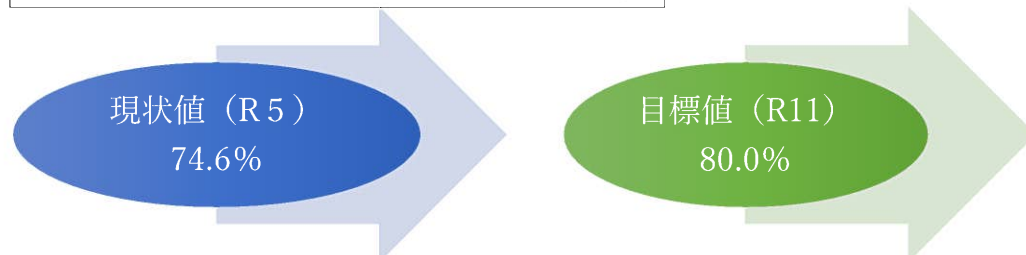
- ①広報「花の里つきがた」、「つきがた暮らしの便利帳」、町公式ホームページ、町公式LINE等による広報活動の一層の充実に努めます。
- ②町政懇談会、出前町長室等を通じて広聴活動の充実に努めます。

広報「花の里つきがた」をいつも読んでいる町民の割合



※町民の割合の現状値は、令和5年10月に実施した町民アンケート結果による。

町のホームページを見たことがある町民の割合



※町民の割合の現状値は、令和5年10月に実施した町民アンケート結果による。

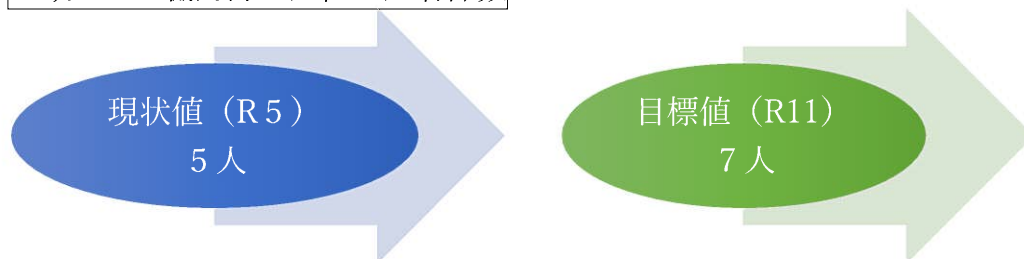
主な施策 2 情報の公開と提供

- ①町民への説明責任を果たし、開かれた町政を推進するため、個人情報の保護に配慮しながら、情報公開を推進します。
- ②町の状況を町民に理解してもらうため、各種統計調査の実施と「月形の統計」等による統計情報の提供等を行います。

主な施策3 町民等との協働体制の強化と地域を支える人材の育成 **創生総合戦略2**

- ①町の政策形成への町民の参画・協働を促すため、各種行政計画の策定や評価、見直しにあたり、審議会・委員会委員の一般公募、各種アンケートやパブリックコメントを実施していきます。
- ②まちづくりに継続的に取り組み、地域の活性化及び地域の人材育成に資する活動として、町民団体やNPO法人、民間企業、大学等の参入を促進します。
- ③地域外からの人材の受け入れを進め、町の課題解決と定住人口の増加を図るため、地域おこし協力隊制度の活用を推進します。

地域おこし協力隊の定住・定着件数



主な施策4 町民団体・NPO法人等への支援

既存の各種町民団体のほか、新たなまちづくり団体やNPO法人等の活動支援に努めます。

重要施策3

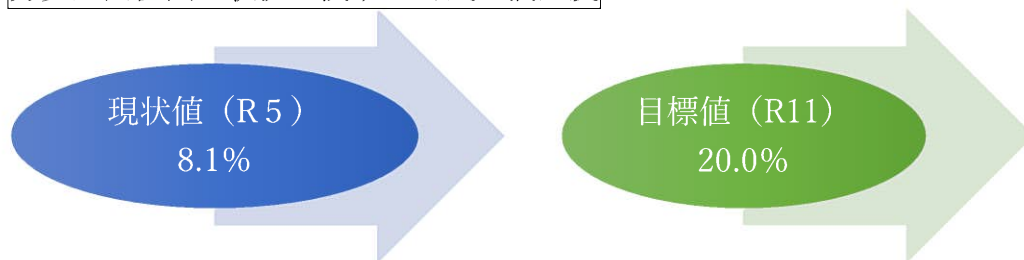
男女共同参画

- 広報紙等による意識啓発の推進や審議会・委員会等への女性の登用等を行い、女性の社会参画に努めます。
- 少子高齢化の進行や不安定な社会経済情勢の中、より豊かで活発なまちづくりに向けて、女性の社会参画を促進します。

主な施策1 男女共同参画に関する啓発活動等の推進

広報活動等を通じ、性別による固定的な役割分担意識の解消や社会慣行の見直し、男女平等意識の浸透に向けた啓発活動を推進します。

男女共同参画の状況に関する町民の満足度



※町民の満足度の現状値は、令和5年10月に実施した町民アンケート結果による。

主な施策2 男女がともに活躍できる社会づくりの促進

仕事と家事や育児、介護の両立を図ることで、男女ともに仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を実現し、女性の社会参画を促進させ、男女がともに活躍できる社会づくりに努めます。

重要施策4

自治体経営

- 多様化する町民ニーズに的確に対応し、町民サービスをさらに向上させるためには、安定した財政基盤のもと最小の経費で最大の効果をあげる組織づくりに努めます。
- 人口減少や少子高齢化に伴う施設需要の変化を見据えながら、公共施設の維持管理や更新、統廃合による適正配置等の計画的な推進により、財政負担の軽減と平準化を図ります。
- 質の高いサービスを持続的に提供していくため、行政事務の効率化や経営資源の共同利用等を見据え、構成自治体と連携・協力し、定住自立圏の形成に向けた取り組みを進めます。

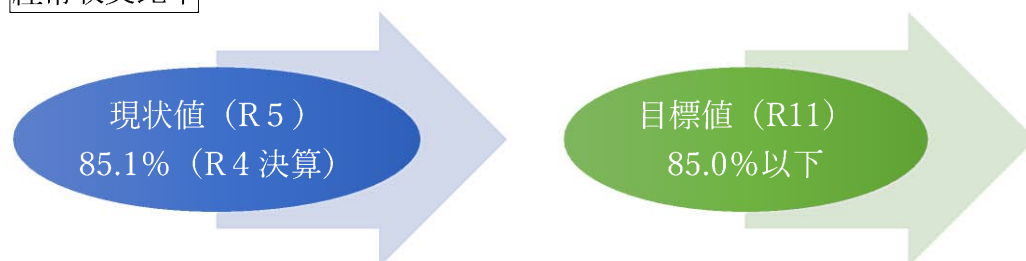
主な施策1 組織運営の適正化

時代に即した行政需要に的確に対応し、町民サービスのより一層の向上を図るために、組織、制度や行政運営のあり方を検討し、事務事業の見直しや組織・機構の再編、定員管理の適正化、職員研修や人事評価制度を活用した職員の資質の向上等、さらなる改革を行い、持続可能な組織づくりを進めます。

主な施策2 効率的で無駄のない財政運営の推進

- ①中長期的な視点に立った健全で計画的な財政運営に努めることにより、将来にわたって持続可能な安定した財政基盤を構築します。
- ②課税客体の的確な把握による公平な課税、滞納されている税及び使用料等の徴収強化、受益者負担の原則に基づく使用料・手数料の見直し等により、自主財源の確保を図ります。
- ③財政状況の確認・点検を常に行いながら、必要性、緊急性、費用対効果等を十分に勘案して事業の厳選と財源の重点配分を図り、効率的で無駄のない財政運営を推進します。
- ④ふるさと納税制度などを活用した自主財源の確保に取り組みます。

経常収支比率



実質公債費比率（3か年平均）



主な施策3 町民サービス等の向上

多様化する町民ニーズの把握に努めるとともに、窓口サービスの充実や組織間の連携等により、町民の視点に立った質の高い行政サービスを提供します。

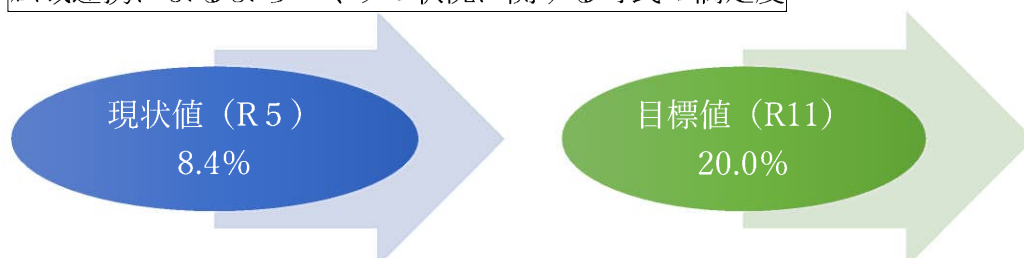
主な施策4 公共施設等の総合的な管理の推進重点プロジェクト5

公共施設等の総合的な管理を通じ、財政負担の軽減を図るとともに、施設の適正配置等を実現するため、公共施設等総合管理計画の見直しを行い公共施設マネジメントの取り組みを進めます。

主な施策5 広域行政の推進創生総合戦略（横断的）／重点プロジェクト5

- ①南空知ふるさと市町村圏組合による圏域の振興に向けた取り組みを推進します。
- ②防災や公共交通、ゴミ処理など行政事務の効率化や経営資源の行動利用のため、構成自治体と連携・協力し、定住自立圏の取り組みを推進します。

広域連携によるまちづくりの状況に関する町民の満足度



※町民の満足度の現状値は、令和5年10月に実施した町民アンケート結果による。

各施策とSDGsとの関係

																	
コミュニティ									○								○
町民参画・協働											○						○
男女共同参画					○					○							
自治体経営											○						○

※持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標の詳細については、82ページをご確認ください。



持続可能な開発目標（SDGs）のまちづくりの視点

持続可能な開発目標（SDGs）とは、平成 27（2015）年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された平成 28（2016）年から令和 12（2030）年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残されないことを誓っています。本町においても、SDGs の理念を取り込み、持続可能な開発目標を意識しながら町政運営に取り組むこととします。

1 貧困をなくそう 	目標 1 あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ	2 飢餓をゼロに 	目標 2 飢餓をゼロに
3 すべての人に健康と福祉を 	目標 3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	4 質の高い教育をみんなに 	目標 4 すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
5 ジェンダー平等を実現しよう 	目標 5 ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る	6 安全な水とトイレを世界中に 	目標 6 すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	目標 7 手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	8 働きがいも経済成長も 	目標 8 すべての人々のための包摂的かつ持続可能な経済成長、雇用及びディーセント・ワークを推進する
9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	目標 9 レジリエントなインフラを整備し、持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る	10 人や国の不平等をなくそう 	目標 10 国内及び国家間の不平等を是正する
11 住み続けられるまちづくりを 	目標 11 都市を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする	12 つくる責任 つかう責任 	目標 12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する
13 気候変動に具体的な対策を 	目標 13 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る	14 海の豊かさを守ろう 	目標 14 海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
15 陸の豊かさも守ろう 	目標 15 森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止及び逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る	16 平和と公正をすべての人に 	目標 16 公正、平和かつ包摂的な社会を推進する
17 パートナリシップで目標を達成しよう 	目標 17 持続可能な開発に向けてグローバル・パートナーシップを活性化する		